



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- これまで、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村が特定復興再生拠点区域として計画・認定され、家屋等の解体・除染等を実施し、概ね完了したことをうけ、令和5年5月1日までに全ての町村※において、避難指示が解除されました。

※富岡町の点・線拠点については、別途協議のうえ避難指示が解除される見通し

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- 仮置場等総数1,372箇所のうち、24箇所では除去土壌等を保管中、1,348箇所では搬出が完了し、1,177箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- 除去土壌の分別処理を行い、7月末時点で、約1177.3万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- 廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、7月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器19,984個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- 2023年7月末時点で、約1,354万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- 用地取得については、7月末時点で契約者数1,855人、面積約1,286haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- 災害廃棄物等の仮置場への搬入については、6月末時点で、約336万トンの搬入を完了しました（うち、約57万トンが焼却処理済、約230万トンが再生利用済）。
- 被災家屋等について、6月末時点で、約18,400件の解体申請を受付済であり、約17,600件を解体済です。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- 6月末時点で、約145万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○**特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況**

- ・7月末時点で、286,264袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**クリーンセンターふたばの埋立状況**

- ・7月30日時点で、1,640袋をクリーンセンターふたばに埋め立てました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（7月実施）**

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を3回、専門家派遣を4回、住民セミナーを4回、車座意見交換会を2回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を5回実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を3日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の現状回復後の放射線測定を4台日実施しました。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、7月末現在でイノシシ191頭、アライグマ133頭、ハクビシン47頭となっています。